

日本歯科医療管理学会雑誌

Japanese Journal of Dental Practice Administration

2024 FEB. Vol. **58** No. **4**



一般社団法人日本歯科医療管理学会
Japanese Society of Dental Practice Administration

歯が溶ける
pH(臨界pH)は、5.3
とは限らない?!

歯磨き回数と
口漱ぎの方法による
う蝕予防効果の違いは?

なぜ初期う蝕は、
エナメル質の内部から
脱灰されるの?

pHが高いと、
なぜ歯石が
できやすいの?

歯周炎患者は
唾液の性状が
違うの?

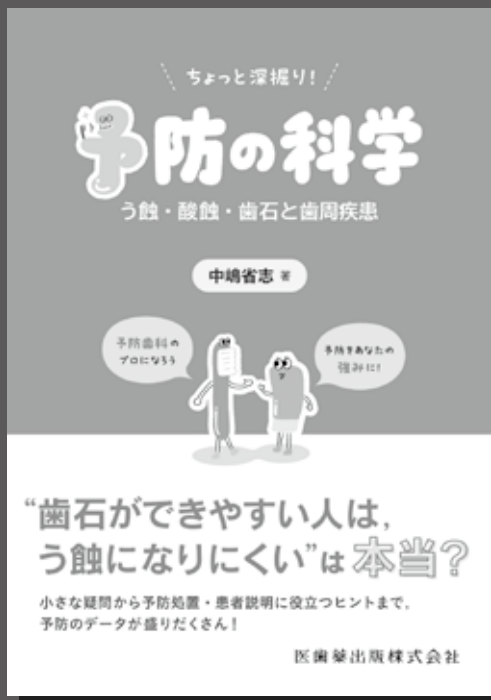
お米はパンより
歯石が
できやすい?!

エナメル質と根面で、
脱灰のされ方は
どう違うの?

白斑であっても
脱灰しているとは
限らない?

う蝕・酸蝕・歯周疾患に関する
こうした疑問に、
自信をもって説明できますか??

わかりやすく
説明してくれるのは
この本!



ちょっと深掘り!

予防の科学

う蝕・酸蝕・歯石と歯周疾患

中嶋省志 著

🦷 A5判 / 240頁 / 2色刷り

🦷 定価 5,280円 (本体 4,800円 + 税10%)

🦷 ISBN978-4-263-44696-6

🦷 注文コード 446960

詳細は2次元コードの
リンク先から!



本書は...

- ✓ う蝕・酸蝕・歯周疾患について、その発症のメカニズムと、予防のためのエビデンスを解説した書籍。
- ✓ 92のトピックをとおして“予防のプロ”になるための知識とスキルを養います。口腔保健への興味と実践への原動力を引き出す患者説明・コミュニケーションのヒントやデータも満載。
- ✓ あなたが知らない“予防の科学”がここにあります。

“予防”を、あなたの強みに!

第 65 回 日本歯科医療管理学会総会・学術大会のご案内（第 2 報）

メインテーマ：歯科医療管理学を北海道で究めるそして極める

大会長：越智守生

（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野教授）

副大会長：挽地俊哉

（グランド歯科医院院長）

実行委員長：廣瀬由紀人

（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野准教授）

準備委員長：仲西康裕

（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野講師）

1. 会期

- | | |
|---------------|--|
| 2024年7月12日（金） | 各種委員会，理事会，社員総会，役員懇親会 |
| 7月13日（土） | 一般口演，ポスター展示，特別講演，シンポジウム，企業展示，
会員懇親会 |
| 7月14日（日） | 一般口演，ポスター展示，特別講演，企業展示，認定医研修会，
認定医・指導医試験 |

2. 会場

共済ホール <https://kyosaihall.jp>

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1 共済ビル6F

3. 内容（予定）

特別講演1：「オンライン資格確認等システムから医療DXへ
～デジタルで変わる今後の歯科医療～」

座長：藤井一維先生（日本歯科大学）

講師：山下護先生（厚生労働省）

特別講演2：「歯科医療管理学会に期待することー過去，現在，未来の視点からー」

座長：尾崎哲則先生（日本大学/学会理事長）

講師：永山正人先生（日本医業経営コンサルタント協会/前理事長）

特別講演3：「地域課題への挑戦～北海道の歯科保健医療を支える連携づくり～」

座長：岡村敏弘先生（北海道医療大学）

講師：本田和枝先生（北海道保健福祉部健康安全局）

特別講演4：「認知症高齢者の歯科口腔管理の課題」

座長：川上智史先生（北海道医療大学）

講師：枝広あや子先生（東京都健康長寿医療センター研究所）

特別講演5：「歯科医療管理を究めるためのDX戦略（仮）」

座長：廣瀬由紀人先生（北海道医療大学）

講師：井田有亮先生（東京大学）

シンポジウム：『口腔の健康とウエルビーイングを促進する教育と実践』

座長：越智守生先生（北海道医療大学/第65回大会長）

山口撰崇先生（札幌市保健所）

シンポジスト：村松真澄先生（札幌市立大学）
竹川政範先生（旭川医科大学）
三谷篤史先生（札幌市立大学）

4. 演題申し込み

- ・第 65 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会ウェブサイトからお申し込みください。
- ・発表形式は口頭，ポスターの 2 形式で，口頭発表の発表時間は 7 分，質疑応答 3 分です。ポスター討論は 13 日（土）15 時 40 分からを予定しております。発表方法の詳細は，第 65 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会ウェブサイトにてご確認ください。
- ・演題申し込みの締切は 2024 年 4 月 30 日（火）17：00 です。演題申し込みと同時に抄録も提出していただきます。
- ・なお，発表者ならびに共同発表者は，全員本学会会員でなければなりません。お申し込み前にご確認いただきますようお願いいたします。

5. 大会ウェブサイト <https://lynx-dent.jp/jsdpa65/>

6. 参加申し込み

演題同様に第 65 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会ウェブサイトからお申し込みいただきます。参加費・懇親会費は以下の予定です。事前登録の締め切りは 2024 年 6 月 7 日（金）17：00 です。締切以降のお申し込みは当日登録扱いとなりますので，学会当日に会場でお手続きください。

参加者区分	参加費		懇親会費	
	事前登録	当日登録	事前登録	当日登録
会 員	10,000 円	12,000 円	12,000 円	14,000 円
非 会 員	12,000 円	14,000 円	12,000 円	14,000 円
コ・デンタル	4,000 円	5,000 円	12,000 円	14,000 円
研修医・大学院生	4,000 円	5,000 円	12,000 円	14,000 円

※「コ・デンタル」および「研修医・大学院生」の費用は会員・非会員共通です。

※懇親会は，定員数 160 名を予定していますので，懇親会の参加はできるかぎり事前登録をお願いします。

懇親会についても学術大会ウェブサイトからお申し込みいただけます。

7. 会員懇親会

会場：ニューオータニイン札幌（札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 1-1）

日時：2024 年 7 月 13 日（土）

8. 宿 泊

大会事務局からの宿泊施設の紹介等はありません。参加者ご自身で手配いただくようお願いいたします。

9. 会場アクセス

- ・JR 札幌駅南口より 徒歩約 8 分
- ・地下鉄東豊線さっぽろ駅直結 21 番出口

[札幌駅へのアクセス]

航空機ご利用の場合

- ・JR 新千歳空港駅→札幌駅
(快速エアポート 約 40 分)



〔運営事務局〕

(一財) 口腔保健協会 コンベンション事業部内
第 65 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会 運営事務局
〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル 402
TEL : 03-3947-8761 FAX : 03-3947-8341
E-mail : jsdpa65@kokuhoken.jp

〔大会事務局〕

北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系
クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野内 準備委員長 仲西康裕
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1851
TEL : 0133-23-2874, FAX : 0133-23-1059
E-mail : jspda65@ml.hoku-iryuo-u.ac.jp

2024 年度認定医研修会のご案内

一般社団法人
日本歯科医療管理学会
認定医制度委員会

2024 年度認定医研修会を以下の要領で開催します。希望者は事前にお申し込みください。

本研修会は、日本歯科医療管理学会認定医制度施行規則第 5 条 2)、第 11 条 2) および日本歯科医療管理学会認定士制度施行規則第 5 条 (2) の本学会が主催する認定医研修会に該当いたします。また、日本歯科医療管理学会指導医制度施行規則第 6 条 (2) の認定医研修会に該当し、指導医申請時および指導医更新時までに 2 回以上の参加が必要です。

記

日 時：2024 年 7 月 14 日 (日) 14：10～15：10 ※予定

会 場：共済ホール

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 1 丁目 1 共済ビル 6F

参加費：会 員 3,000 円

非会員 5,000 円

参加人員：100 名程度

講演テーマと講師：未定 *決まり次第、学会ウェブサイトに掲載します。

お申込み方法：

第 65 回総会・学術大会ウェブサイト (<https://lynx-dent.jp/jsdpa65/>) の参加登録フォームよりお申し込みください。

参加費お支払い方法：

参加登録フォーム送信後、自動返信メールに従い参加費を銀行振込またはカード決済にてお支払いください。

※期日までにご入金のない場合は参加登録完了となりませんご注意ください。

※入金後のキャンセルがありましても、参加費の返金は受け付けておりませんのでご了承ください。

その他：

受講証は、認定医、指導医および認定士申請、更新時に必要ですので各自で保管ください。

申し込み先：〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル 4 階 (一財) 口腔保健協会内
一般社団法人日本歯科医療管理学会事務局

申込締切日：2024 年 6 月 7 日 (金) 17：00 まで

以上

2024年度日本歯科医療管理学会認定医および指導医申請のお知らせ

一般社団法人
日本歯科医療管理学会
認定医制度委員会
認定医資格認定審査会

2024年度認定医および指導医申請を下記の要領で受け付けます。詳細につきましては本学会ウェブサイトに掲載の制度規則、施行規則をご参照ください。

I. 認定医申請資格の要件（認定医制度規則第6条、認定医制度施行規則第5条参照）

1. 日本国の歯科医師免許を有すること
 2. 歯科医師免許登録後、5年以上継続して本学会会員であること
 3. 本学会が指定する過去5年間の関連学会での実績を100単位以上取得していること
- *認定医制度規則第6条の条件を満たしている場合には、認定医制度規則第8条に基づき筆記試験が行われます。
- *試験の内容については、学会ウェブサイトへ掲載いたします。

II. 指導医申請資格の要件（指導医制度規則第6条、指導医制度施行規則第6条参照）

1. 日本国の歯科医師免許を有すること
 2. 指導医の申請時において、学会会員であり、かつ、通算して10年以上の会員歴を有すること
 3. 指導医の申請時において、学会認定医であり、かつ、通算して5年以上の認定医歴を有すること
 4. 指導医制度施行規則第6条(1)～(6)の合計単位数が認定医の研修単位基準で240単位以上を有すること
- *指導医制度規則第6条の条件を満たしている場合には、指導医委員会による面接が行われます。

III. 申請書類の入手方法

本学会ウェブサイト、会員専用ページ (<https://www.jsdpa.gr.jp/member/>) の「認定医制度」または「指導医制度」のページよりダウンロードしてください。

- *ウェブサイトからのダウンロードは機種により正常に行えない場合がございます。その折はお手数ですが、返信用封筒（返信先の住所・氏名を明記、120円切手を貼付、A4判）を同封のうえ、本学会事務局へ文書にてお申し込みください。

IV. 2024年度認定医・指導医申請受付期間：2024年3月1日～2024年4月30日（当日消印有効）

V. 認定医試験・指導医面接：第65回総会・学術大会中に実施予定

VI. 申請料（10,000円）の送金先

1. 郵便局からお振り込みの場合

口座番号：振替口座 00140-1-263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

- *払込用紙はゆうちょ銀行（郵便局）備え付けの用紙をご利用ください。

2. 郵便局以外の金融機関からお振り込みの場合

金融機関：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019 預金種目：当座預金

店名：〇一九店（ゼロイチキュー店）口座番号：0263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

- *払込手数料はご申請者にてご負担願います。また、通信欄に「認定医申請料」または「指導医申請料」の別を明記してください。審査にかかわる申請料は10,000円です。

- *一度納入された申請料は原則として返金をいたしません。

*必ず、払込金受領証のコピーを申請用紙に添付してください。

VII. 書類の提出先：〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル（一財）口腔保健協会内
一般社団法人日本歯科医療管理学会認定医制度委員会

*送付には、書留、レターパック、宅配便等の送達の確認ができる方法をお勧めいたします。

2024年度日本歯科医療管理学会認定士申請のお知らせ

一般社団法人
日本歯科医療管理学会
認定士委員会
認定医資格認定審査会

2024年度認定士申請を下記の要領で受け付けます。詳細につきましては本学会ウェブサイトに掲載の認定士制度規則、施行規則をご参照ください。

I. 認定士申請資格の要件（認定士制度規則第7条、認定士制度施行規則第5条参照）

1. 歯科医療連携に関する国家資格免許を有すること
2. 認定士の申請時において、3年以上継続して本学会会員であること
3. 認定士制度施行規則第5条に定める研修実績を45単位以上取得していること

認定士制度施行規則 第5条

認定士申請者は、次の各号に定める項目について所定の研修を修めなければならない。単位の算定は申請時より起算して過去3年間のものとする。取得単位は45単位以上取得しなければならない。また、取得単位(1)は必須とし、(2)(3)の単位を併せて所定の単位を取得しなければならない。ただし、歯科衛生士および歯科技工士に関しては取得単位を40単位以上とする。

- (1) 学会参加：本学会または地域関連団体が主催する総会・学術大会に参加しなければならない。
- (2) 認定医研修会参加：本学会または地域関連団体が主催する認定医研修会に参加しなければならない。
- (3) 学会発表：本学会または地域関連団体が主催する学会、関連学会、教育期間、歯科医師会、同窓会等のいずれかで筆頭者もしくは共同発表者として発表、あるいは講師、座長、シンポジスト等のいずれかをしなければならない。また、本学会誌への論文投稿の筆頭著者もしくは共同著者でも可とする。

II. 申請書類の入手方法

本学会ウェブサイト、会員専用ページ (<https://www.jsdpa.gr.jp/member/>) の「認定士制度」のページよりダウンロードしてください。

*ウェブサイトからのダウンロードは機種により正常に行えない場合がございます。その折はお手数ですが、返信用封筒（返信先の住所・氏名を明記、120円切手を貼付、A4判）を同封のうえ、本学会事務局へ文書にてお申し込みください。

III. 2024年認定士申請受付期間：2024年3月1日～2024年4月30日（当日消印有効）

IV. 認定士試験：第65回総会・学術大会中に実施予定

V. 審査料（5,000円）の送金先

1. 郵便局からお振り込みの場合

口座番号：振替口座 00140-1-263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

*払込用紙はゆうちょ銀行（郵便局）備え付けの用紙をご利用ください。

2. 郵便局以外の金融機関からお振り込みの場合

金融機関：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019 預金種目：当座預金

店名：〇一九店（ゼロイチキュー店）口座番号：0263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

*払込手数料はご申請者にてご負担願います。また、通信欄に「認定士申請料」の別を明記してください。審査料は5,000円です。

*一度納入された申請料は原則として返金をいたしません。

*必ず、払込金受領証のコピーを申請用紙に添付してください。

VI. 書類の提出先

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル (一財) 口腔保健協会内
一般社団法人日本歯科医療管理学会認定士委員会

*送付には、書留、レターパック、宅配便等の送達の確認ができる方法をお勧めいたします。

2024年度日本歯科医療管理学会認定医更新のお知らせ

一般社団法人
日本歯科医療管理学会
認定医制度委員会
認定医資格認定審査会

2024年度認定医更新を下記の要領で受け付けます。詳細につきましては本学会ウェブサイトに掲載の認定医制度規則、認定医制度施行規則をご参照ください。

なお、本年度認定医更新は登録期限が**2024年1月1日～2024年12月31日**までの先生が対象となりますのでお手続きをお願いします。

I. 認定医資格更新の要件（認定医制度施行規則第8条、第11条参照）

認定医登録された日から5年間に認定医制度施行規則別表1に定められた以下の単位を100単位以上取得しなければならない。また、1)は必須とし、2)3)4)の単位を合わせて所定の単位を取得しなければならない。

- 1) 学会参加：本学会または地域関連団体が主催する総会・学術大会への参加
- 2) 研修会参加：本学会または地域関連団体が主催する認定医研修会への参加
- 3) 学会発表：本学会または地域関連団体が主催する学会、関連学会、教育機関等での発表や本学会誌への論文投稿など
- 4) 歯科医療管理学及び関連学会関係の著作、臨床研修医指導・学生教育、研修機関での研修、学会運営

II. 申請書類

1. 日本歯科医療管理学会認定医更新申請書（様式1-2）
2. 履歴書（様式2）
3. 認定証（写し）
4. 認定医取得から5年間の研修実績報告書（様式3）
5. 払込受領証（写し）

III. 更新書類の入手方法

本学会会員ページ（<https://www.jsdpa.gr.jp/member/>）の「認定医制度」のページよりダウンロードしてください。

*ウェブサイトからのダウンロードは機種により正常に行えない場合がございます。その折はお手数ですが、返信用封筒（返信先の住所・氏名を明記、120円切手を貼付、A4判）を同封のうえ、本学会事務局へ文書にてお申し込みください。

IV. 2024年度認定医更新受付期間（当日消印有効）

2024年1月1日～6月30日までの期限：**2024年3月1日～4月30日**

2024年7月1日～12月31日までの期限：**2024年9月1日～10月31日**

V. 更新料（10,000円）の送金先

1. 郵便局からお振り込みの場合

口座番号：振替口座 00140-1-263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

*払込用紙はゆうちょ銀行（郵便局）備え付けの用紙をご利用ください。

2. 郵便局以外の金融機関からお振り込みの場合

金融機関：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019 預金種目：当座預金

店名：〇一九店（ゼロイチキュー店） 口座番号：0263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

- * 払込手数料はご申請者にてご負担願います。また、通信欄に「認定医更新料」と明記してください。更新にかかわる費用は10,000円です。
- * 一度納入された更新料は原則として返金をいたしません。
- * 必ず、払込金受領証のコピーを申請用紙に添付してください。

VI. 書類の提出先

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル（一財）口腔保健協会内
一般社団法人日本歯科医療管理学会認定医制度委員会

- * 送付には、書留，レターパック，宅配便等の送達の確認ができる方法をお勧めいたします。

2024年度日本歯科医療管理学会指導医更新のお知らせ

一般社団法人
日本歯科医療管理学会
認定医制度委員会
認定医資格認定審査会

2024年度指導医更新を下記の要領で受け付けます。詳細につきましては本学会ウェブサイトに掲載の指導医制度規則、指導医制度施行規則をご参照ください。

なお、本年度指導医更新は登録期限が**2024年1月1日～2024年12月31日**までの先生が対象となりますのでお手続きをお願いします。

I. 指導医資格更新の要件（指導医制度規則第6, 12条, 指導医制度施行規則第6条参照）

以下の1, および2. は必須とし, 3.～6. の単位数と合わせて認定医の研修単位基準で240単位以上を有する者。

1. 本学会または地域関連団体が主催する総会・学術大会への参加を60単位以上。
2. 認定医研修会への参加を2回以上の40単位以上。
3. 本学会（地域関連団体総会・学術大会を含む）での発表。
4. 本学会雑誌への発表, あるいは歯科医療管理学関連で他雑誌や著書の執筆。
5. 本学会（地域関連団体総会・学術大会を含む）及び指定する関連学会での学会講師等。
6. 歯科医療管理学に関連して, 学生教育および臨床研修医指導。

II. 申請書類

1. 日本歯科医療管理学会指導医更新申請書（様式4-2）
2. 履歴書（様式5）
3. 日本歯科医療管理学会指導医資格証（写し）
4. 日本歯科医療管理学会指導医申請 単位数明細（様式6）
※申請単位を証明する資料を添付してください。
5. 指導医認定更新料（20,000円）の郵便払込票兼受領票のコピー

III. 更新書類の入手方法

本学会会員ページ（<https://www.jsdpa.gr.jp/member/>）の「指導医制度」のページよりダウンロードしてください。

*ウェブサイトよりのダウンロードは機種により正常に行えない場合がございます。その折はお手数ですが、返信用封筒（返信先の住所・氏名を明記, 120円切手を貼付, A4判）を同封のうえ, 本学会事務局へ文書にてお申し込みください。

IV. 2024年度指導医更新受付期間（当日消印有効）

2024年1月1日～6月30日までの期限：**2024年3月1日～4月30日**

2024年7月1日～12月31日までの期限：**2024年9月1日～10月31日**

V. 更新料（20,000円）の送金先

1. 郵便局からお振り込みの場合

口座番号：振替口座 00140-1-263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

*払込用紙はゆうちょ銀行（郵便局）備え付けの用紙をご利用ください。

2. 郵便局以外の金融機関からお振り込みの場合

金融機関：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019 預金種目：当座預金

店名：〇一九店（ゼロイチキョウ店） 口座番号：0263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

* 払込手数料はご申請者にてご負担願います。また、通信欄に「指導医更新料」と明記してください。更新にかかわる費用は20,000円です。

* 一度納入された更新料は原則として返金をいたしません。

* 必ず、払込金受領証のコピーを申請用紙に添付してください。

VI. 書類の提出先

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル（一財）口腔保健協会内

一般社団法人日本歯科医療管理学会指導医委員会

* 送付には、書留、レターパック、宅配便等の送達の確認ができる方法をお勧めいたします。

2024年度日本歯科医療管理学会認定士更新のお知らせ

一般社団法人
日本歯科医療管理学会
認定士委員会

2024年度認定士更新を下記の要領で受け付けます。詳細につきましては本学会ウェブサイトに掲載の認定士制度規則、認定士制度施行規則をご参照ください。

なお、本年度認定士更新は登録期限が**2024年1月1日～2024年12月31日**までの方が対象となりますのでお手続きをお願いします。

I. 認定士資格更新の要件（認定士制度規則第7条、第10条、認定士制度施行規則第5条参照）

認定士登録された日から5年間に認定医制度施行規則別表1に定められた以下の単位を45単位以上取得しなければならない。また、1)は必須とし、2)3)の単位を合わせて所定の単位を取得しなければならない。ただし、歯科衛生士および歯科技工士に関しては取得単位を40単位以上とする。

- 1) 学会参加：本学会または地域関連団体が主催する総会・学術大会への参加
- 2) 研修会参加：本学会または地域関連団体が主催する認定医研修会への参加
- 3) 学会発表：本学会または地域関連団体が主催する学会、関連学会、教育機関等での発表や本学会誌への論文投稿など

II. 申請書類

1. 日本歯科医療管理学会認定士更新申請書（様式1-2）
2. 履歴書（様式2）
3. 認定証（写し）
4. 資格免許証（写し）
5. 認定医取得から5年間の研修実績報告書（様式3）
6. 払込受領証（写し）

III. 更新書類の入手方法

本学会会員ページ（<https://www.jsdpa.gr.jp/member/>）の「認定士制度」のページよりダウンロードしてください。

*ウェブサイトからのダウンロードは機種により正常に行えない場合がございます。その折はお手数ですが、返信用封筒（返信先の住所・氏名を明記、120円切手を貼付、A4判）を同封のうえ、本学会事務局へ文書にてお申し込みください。

IV. 2024年度認定医更新受付期間（当日消印有効）

2024年1月1日～6月30日までの期限：**2024年3月1日～4月30日**

2024年7月1日～12月31日までの期限：**2024年9月1日～10月31日**

V. 更新料（5,000円）の送金先

1. 郵便局からお振り込みの場合

口座番号：振替口座 00140-1-263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

*払込用紙はゆうちょ銀行（郵便局）備え付けの用紙をご利用ください。

2. 郵便局以外の金融機関からお振り込みの場合

金融機関：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019 預金種目：当座預金

店名：〇一九店（ゼロイチキュー店） 口座番号：0263588 加入者名：日本歯科医療管理学会

- * 払込手数料はご申請者にてご負担願います。また、通信欄に「認定士更新料」と明記してください。更新にかかわる費用は5,000円です。
- * 一度納入された更新料は原則として返金をいたしません。
- * 必ず、払込金受領証のコピーを申請用紙に添付してください。

VI. 書類の提出先

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル（一財）口腔保健協会内
一般社団法人日本歯科医療管理学会認定士制度委員会

- * 送付には、書留、レターパック、宅配便等の送達の確認ができる方法をお勧めいたします。

日本歯科医療管理学会雑誌
第58巻 第4号 (通巻第156号)
2024年2月

目 次

巻頭言

- 今後の歯科診療報酬改定に対する本学会の貢献と学会活性化を考える
～令和6年度医療技術評価での本学会からの提案技術の初採択を踏まえ～……………上 條 英 之 171

視 点

- 歯科大学病院におけるマイナンバーカードを用いたオンライン資格確認の状況
……………守 下 昌 輝 村 岡 宏 祐 中 村 太 志
福 田 晃 高 橋 理 吉 居 慎 二
林 政 成 川 元 龍 夫 粟 野 秀 慈 172

- 書 評 …………… 178
投稿規則 …………… 179
編集後記 …………… 181

表紙の由来：明るく、楽しい、幸福な歯科医療でありたい、という願いから、Happy, Heart, Harmony, Humanity の「H」を基にデザインされています。



CONTENTS

Vision

Status of Online Eligibility Verification Using Individual Number Cards
at Kyushu Dental University Hospital

MORISHITA Masaki, MURAOKA Kosuke, NAKAMURA Taiji, FUKUDA Hikaru,
TAKAHASHI Osamu, YOSHII Shinji, HAYASHI Masanari, KAWAMOTO Tatsuo

and AWANO Shuji 172

|||||
巻 頭 言
|||||

今後の歯科診療報酬改定に対する本学会の貢献と 学会活性化を考える

～令和 6 年度医療技術評価での本学会からの提案技術の初採択を踏まえ～

日本歯科医療管理学会理事
医療保険・地域医療検討委員会副委員長（社会保険）
上 條 英 之



1. 歯科診療所の運営安定化等が本学会の目的

2024 年 1 月上旬に本学会が目指す方向性を検討するためのワークショップが開催されました。本学会のそもそもの目的は「歯科医療の内容を向上させて歯科診療所などの環境整備と運営の安定化を図り国民の健康に寄与すること」（定款第一条）ではありますが、最近の学会活動の主体は医療安全や地域連携です。歯科医療の実状からみて「歯科診療所等の適切な運営が確保されるよう歯科医療の発展に寄与する診療報酬制度等の充実強化を図ること」が本学会の重要な目的となりえます。

2 年に 1 度改定される歯科診療報酬では毎回新技術が導入されていますが、診療報酬改定の審議を行っている中医協では、2006 年の診療報酬改定以降、「診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会」で医療技術の評価、再評価を行う仕組みが整備されています。最近の改定で導入された CAD/CAM 冠や磁性アタッチメント等の技術は保険医療材料の新規導入が影響していますが、歯科関係の各学会から技術提案希望書が提出され、このうち保険適用の優先度が高い技術が診療報酬の新規技術として導入されました。

2. 2024 年改定で本学会の提案技術が初めて正式採用

診療報酬に対する技術提案は、本学会の場合、医療保険に関する委員会にて検討を行い 2011 年度から診療報酬の再評価希望書を継続的に提出してきました。開業医が中心の**社会系の学会**で改定に対応できる**医療技術提案**を行うにあたっては、医療費影響が大きい提案が多くなりがちであり、そもそも医学管理等の対応技術の場合、エビデンスを集積するための専門の研究者が少なく、**ハードルが非常に高い**のが実状です。2022 年改定まで本学会提案の技術が保険導入をされたことは制度上ありませんでしたが、2020 年の改定で本学会が提案した技術のうち「糖尿病患者の機械的歯面清掃を月 1 回とする提案」が医療技術評価分科会で保険導入技術として位置づけがないなか、本学会の提案と同一内容にて改定で導入され、事実上本学会の提案技術が歯科診療報酬改定で採用されました。

4 年が経ち、**2024 年 1 月 15 日開催の厚労省の医療技術評価分科会**において 2024 年の改定で初めて本学会が提案した技術が、正式に**保険適用の優先度が高い技術**として位置づけられました。提案した技術の内容は「歯周病安定期治療（SPT、2 月 1 回算定）に対する糖尿病患者の治療間隔短縮症例（毎月算定）への位置づけ明確化」で、糖尿病患者について、SPT が定着しつつある歯科診療の現場で、**比較的影響度の強い改定内容としての寄与が期待**されます。

3. 本学会の継続的な活性化に向けての対応

今後、国民の健康の向上を図るためニーズの変化に対応した歯科医療サービスが提供できるよう歯科診療所等の運営が安定することが非常に重要です。わが国は国民皆保険制度が実現した国であり、歯科医療についても給付範囲が非常に広く、UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）がほぼ実現している国です。このため茨の道でも**歯科診療報酬制度の改革**に本学会が今まで以上に調査研究等を進めることが**学会の本質的な活性化**につながるのではないのでしょうか。

|||||
視 点
|||||

歯科大学病院におけるマイナンバーカードを用いた オンライン資格確認の状況

守下昌輝^{1,2)} 村岡宏祐¹⁾ 中村太志³⁾
福田 晃⁴⁾ 高橋 理⁴⁾ 吉居慎二⁵⁾
林 政成⁶⁾ 川元龍夫⁷⁾ 栗野秀慈¹⁾

概要：国は医療分野でのデジタルトランスフォーメーションの推進のために、医療機関等で提示するさまざまな証書、手帳等について、マイナンバーカードに一元化することを目標に、マイナンバーカードの機能の一つに健康保険証機能をもたせ、医療機関での健康保険資格の有効性の即時確認と本人確認が可能となるように、2021年10月からオンライン資格確認等システムを運用している。マイナンバーカードと顔認証付きカードリーダーを用いて、顔認証または暗証番号による本人確認、診療情報・薬剤情報・特定健診情報の医療機関での閲覧同意について患者が任意で選択できる仕組みが提供されている。

大学病院において、マイナンバーカードと顔認証付きカードリーダーを用いてオンライン資格確認を実施した患者のプロファイルと診療情報・薬剤情報・特定健診情報の閲覧同意の状況について明らかにすることを目的とした。

その結果、50~70代の患者がマイナンバーカードを用いたオンライン資格確認を最も利用した。また、顔認証よりも暗証番号での認証が多かった。診療情報、薬剤情報は97%以上、特定健診情報は85%以上の閲覧同意を得ていた。したがって、オンライン資格確認のメリットである、診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧に対して、患者の理解が得られていることが示された。

索引用語：マイナンバーカード、オンライン資格確認、顔認証付きカードリーダー

緒 言

マイナンバーカードは、個人番号を証明し、本人確認としての公的証明書でさまざまな行政サービスを受けることができるICカードとして、2016年1月から交付が開始された¹⁾。2017年に患者・国民に対する保険医療の質の向上のため、医療機関等の連携の推進、研究開発の

推進、医療の効率化の推進を軸に、医療情報分野の情報化推進の方針を国は示した²⁾。医療等分野のICT化推進にあたり、ICTの効果を最大限に発揮するため、医療連携や医学研究に利用可能な番号の導入に向けて、マイナンバー制度の活用が提言され³⁾、医療機関等の事務の効率化に資するとして、マイナンバーカードに健康保険証の機能をもたせることが盛り込まれた³⁾。オンライン資格確認等システム⁴⁾の2021年3月末からの本格運用に向けた準備が行われた⁵⁾が、医療機関や薬局、システムベンダー等への周知が不十分であるという課題⁵⁾があり、本格運用の開始時期が2021年10月に延期され⁶⁾、2021年10月20日から本格運用が開始された⁷⁾。そして、2023年4月からオンライン資格確認は医療機関において原則として義務化された⁸⁾。

患者がマイナンバーカードを医療機関および薬局に持参した場合、顔認証付きカードリーダーで顔認証による本人確認を行うか、顔認証付きカードリーダーに4桁の暗証番号を入力して本人確認を行う⁴⁾。顔認証機能は、

1) 九州歯科大学口腔機能学講座クリニカルクラックシップ 開発学分野 (指導: 栗野秀慈教授)

2) 九州歯科大学附属病院診療情報管理室

3) 九州歯科大学口腔機能学講座歯周病学分野

4) 九州歯科大学学生体機能学講座顎顔面外科学分野

5) 九州歯科大学健康増進学講座ラーニングデザイン教育推進学分野

6) 九州歯科大学附属病院病院事務部

7) 九州歯科大学健康増進学講座顎口腔機能矯正学分野

受付: 令和5年10月19日

受理: 令和5年11月28日

顔認証付きカードリーダーのカメラで患者の顔を撮影した画像データと、マイナンバーカードに格納した顔写真データを比較して顔の特徴点等を分析し、同一人物であることを照合し、本人確認を行っている⁴⁾。

健康保険証または処方箋を持参した場合は、事務員等がオンライン資格確認等システムに健康保険証の記号番号等を入力して、健康保険資格の有効性を即時に判断できる⁴⁾。オンライン資格確認等システムで、医師・歯科医師等の有資格者は、本人の同意があれば診療情報、薬剤情報、特定健診情報を閲覧できる。これにより、患者によりよい医療を受けられる環境を提供できる⁴⁾とされている。診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧にかかわる同意は、顔認証付きカードリーダーのディスプレイに表示され、患者本人の任意で選択できるようになっている⁴⁾。

九州歯科大学附属病院（以下、当院）では、2022年2月から顔認証付きカードリーダーを総合受付に設置し、オンライン資格確認等システムの運用を開始した。

全国で2021年10月のオンライン資格確認等システムの本格運用からすでに2年経過しているが、マイナンバーカードを用いたオンライン資格確認にかかわる大学病院での事例についての報告はまだない。そこで、当院でマイナンバーカードを用いてオンライン資格確認を実施した患者の性別や年齢などのプロフィールと、診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧の同意状況について明らかにすることを目的として本研究を行った。

対象および方法

1. 対象期間

オンライン資格確認等システム⁴⁾からダウンロードしたデータが欠損していない期間であった、2022年11月1日～2023年9月30日を対象期間とした（図1）。

2. 対象者と除外基準

対象期間中に九州歯科大学附属病院を受診し、マイナンバーカードを用いて、顔認証付きカードリーダーでオンライン資格確認を実施した延べ1,178名（実患者数544名）について、オンライン資格確認等システムで未保険証化と判定された27名、資格無効と判定された12名を除外し、延べ1,139名を対象者とした（図1）。患者がマイナポータルで保険証利用の申込が未実施で、顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードを初めてセットした際に、マイナンバーカードと保険証情報が自動的に紐づけされる。未保険証化とは、マイナンバーカードと保険証情報の紐づけが自動的にできなかったことを示している。

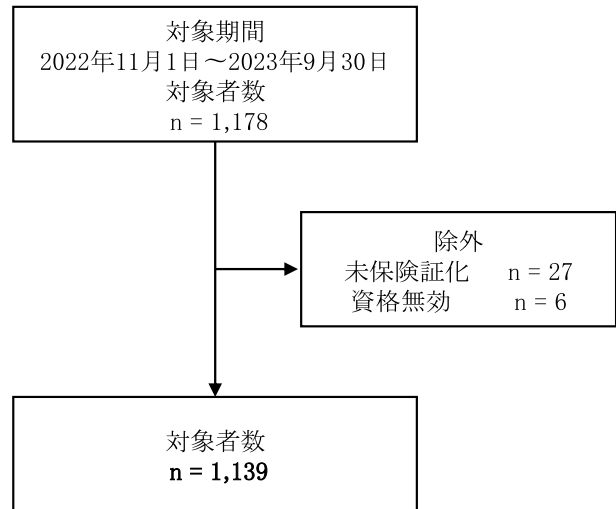


図1 対象期間と対象者の選択・除外

3. データ抽出方法

オンライン資格確認等システム⁴⁾を用いて、資格確認日、生年月日、性別、認証区分（顔認証・暗証番号）、診療情報・薬剤情報・特定健診情報についてのおおのの閲覧にかかわる同意の有無のデータを抽出した。

本研究は、九州歯科大学研究倫理委員会（承認番号22-48）の承認を受けている。

4. 年齢および年齢層

年齢は資格確認日時点の年齢、年齢層を10歳刻みとし、10歳未満（<10）、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代、90代に分類した。

5. データ解析および統計解析方法

Qlik Sense[®] Enterprise, February 2022 (Qlik Technologies, アメリカ)を用いてデータ解析を行った。

GraphPad Prism 9.3.1 (GraphPad Software, アメリカ)を用いて、性別間の平均年齢には、Mann-Whitney検定、その他はフィッシャーの正確検定を行った。

結 果

1,139名（実患者数544名）を対象者として本研究を行った。対象者の男性は延べ507名（実患者数236名）、女性は延べ632名（実患者数308名）で平均年齢はそれぞれ56.9±20.7歳、54.2±19.8歳で統計学的有意差を認めた。

性別の年齢層の割合を表1に示す。男性は70代、女性は60代にピークを認めた。男性も女性も50～70代が多かった。

顔認証付きカードリーダーで、顔認証または暗証番号

表1 対象者の性別と年齢層の割合

年齢層	男 (n=507, %)	女 (n=632, %)
<10	3.6	2.4
10代	4.7	5.4
20代	6.1	8.5
30代	4.7	5.1
40代	6.9	8.4
50代	19.3	22.0
60代	21.1	24.4
70代	26.4	17.6
80代	6.1	6.0
90代	1.0	0.3
合計	100.0	100.0

のいずれかでオンライン資格確認を実施した、性別での割合を表2に示す。男女ともに80%以上が暗証番号による資格確認を行い、顔認証はいずれも15%前後で性別について統計学的有意差を認めなかった。

診療情報、薬剤情報、特定健診情報のそれぞれについて、閲覧にかかわる同意の状況を示したのが表3である。診療情報および薬剤情報の閲覧に同意したのは、男性、女性でそれぞれ97.2%、98.1%となり、性別について統計学的有意差を認めなかった。特定健診情報では男性、女性でそれぞれ86.6%、83.9%となり、同様に統計学的有意差を認めなかった。

診療情報・薬剤情報・特定健診情報の閲覧にかかわる同意について、年齢層別の割合で示したのが表4である。診療情報および薬剤情報はともに90代の85.7%を除き、90%以上であった。特定健診情報について、30代以下では20~30%台であったが、40代以上では96%以上であった。全体で同意した割合は、診療情報および薬剤情報は97.7%、特定健診情報は85.1%であった。

特定健診情報について、40代未満と以上に分類したところ、同意はそれぞれ30.2%、99.1%で、統計学的有意差を認めた(表5)。

考 察

当院は男性よりも女性のほうが多く受診しており⁹⁾、表1に示す傾向と一致した。

政令指定都市のなかで高齢化率が最も高い31.2%(令和4年度)の北九州市¹⁰⁾に当院は所在しており、高齢者の受診が多いことを以前われわれは報告している¹¹⁾。令和5年9月末時点での50~70代のマイナンバーカードの取得率¹²⁾が74.7~82.6%で、表1では男性・女性ともに50~70代の対象者が多いことが示され、その結果とおお

表2 認証区分別の割合

認証区分	男 (%)	女 (%)	延べ人数	p 値
暗証番号	83.8	85.6	966	0.408
顔認証	16.2	14.4	173	

表3 各種情報の閲覧にかかわる同意の割合

区分	男 (%)	女 (%)	延べ人数	p 値
診療情報	97.2	98.1	1,113	0.425
薬剤情報	97.2	98.1	1,113	0.425
特定健診情報	86.6	83.9	969	0.210

表4 年齢層別の各種情報の閲覧にかかわる同意の割合

年齢層	診療情報 (%)	薬剤情報 (%)	特定健診情報 (%)
<10	90.9	90.9	30.3
10代	94.8	94.8	32.8
20代	97.6	97.6	22.4
30代	98.2	98.2	39.3
40代	97.7	97.7	96.6
50代	98.7	98.7	100.0
60代	98.9	98.9	99.2
70代	97.6	97.6	99.2
80代	97.1	97.1	98.6
90代	85.7	85.7	100.0
全体	97.7	97.7	85.1

表5 特定健診情報の閲覧にかかわる同意の40代未満・以上の割合

特定健診情報 閲覧	40代 未満 (%)	40代 以上 (%)	延べ 人数	p 値
同意	30.2	99.1	969	<0.001
不同意	69.8	0.9	170	

むね一致した。

顔認証は、マイナンバーカードに登録されている白黒の顔写真データと、顔認証付きカードリーダーのカメラで撮影した顔写真データを比較して、顔の特徴点を分析して本人照合を行っていることから、本人であっても場合によっては顔認証が失敗することがある。顔認証付きカードリーダーのバンダーは、その原因を、マスクの色・柄・形状・材質(肌色に近いマスクの色、光源を反射するような光沢のある生地マスク)、前髪の長さや眉毛の形状、眼鏡の有無があることを挙げている¹³⁾。医

療機関の受診時は新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用が推奨されていたことから、顔認証をマスク着用のままで行ったことが認識率の低さにつながったと考えられる。顔認証が実施できない場合には、暗証番号での認証を行うように顔認証付きカードリーダーのディスプレイに表示される¹⁴⁾ことから、表2に示すように、暗証番号の使用が多かったことが考えられる。

当院において、患者はまず顔認証を行っているが、うまく認識されないため暗証番号を使用していた。顔認証付きカードリーダーを設置している総合受付には、受付と患者との間に透明の飛沫防止プラスチック板を設置しており、飛沫防止プラスチック板により、顔認証付きカードリーダーのカメラの認識率を低下させている可能性があり、当院の顔認証付きカードリーダーの設置環境が、暗証番号を利用する患者が多かった原因の一つであると考えられる。

診療情報、薬剤情報、特定健診情報はオンライン資格確認等システムを経由して、患者の同意が得られれば医療機関側で閲覧可能となり、医療安全の向上に寄与できることが謳われており⁸⁾、オンライン資格確認のメリットの一つである。診療情報および薬剤情報は男女ともに97%以上で閲覧同意が得られており、患者にとってメリットがあることが周知されていることが考えられる。90代がほかの年齢層よりも割合が低かったのは、対象者数7名中、同意ありが6名で、1名あたりの割合がほかの年齢層よりも高くなったことが理由であると考えられる。

特定健診情報の同意は85.1%で診療情報、薬剤情報の同意の97.7%との差があったのは、40代未満で30%以下となっていたことが関係している(表4)。

特定健診は、生活習慣病予防のために40~74歳を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診¹⁵⁾として実施されている。そのため特定健診情報は40~74歳で表示され、75歳以上の場合は後期高齢者健診情報が代わりに表示される⁴⁾。顔認証付きカードリーダーのディスプレイで、特定健診情報の閲覧同意について、表示の1行目に40歳以上対象と明記し、さらに選択肢には「同意する、同意しない」「40歳未満の方」の2つが用意されている¹⁴⁾。顔認証機器の画面遷移では、診療情報、薬剤情報、特定健診情報の順に閲覧同意について表示されることから、診療情報、薬剤情報にそれぞれ同意した流れで、特定健診情報も40歳未満であっても流れで「同意する」の選択肢を押下したことが考えられる(表5)。40代未満が特定健診情報の閲覧に同意したとしても、閲覧するデータそのものが存在しないことから、同意・不同意の違いに大きな意味はないと考える。しかし、これは個人情報にかかわる内容であっても、画面表示をよく読まずに同意が行われている事実を示していると考えられる。

本研究の限界は、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を対象として扱ったことから、健康保険証を用いたオンライン資格確認について言及していないことである。健康保険証を用いたオンライン資格確認について、オンライン資格確認等システムからダウンロードしたデータでは、生年月日や性別など本研究で使用したパラメータが取得できなかったことから対象としなかった。保険証を利用したオンライン資格確認の状況については今後改めて検討したい。また、国はマイナンバーカードの保険証利用について積極的に支援を行っていることから、月別の利用件数の変化についても今後改めて検討したい。

当院の歯科外来電子カルテシステムは、オンライン資格確認等システムから提供される、診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧機能を有しておらず、患者が閲覧に同意しても診療に活用できていないのが現状で、本研究では閲覧による医療安全への効果を評価することはできなかった。当院の次期電子カルテシステムでは、診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧機能を搭載する見込みであることから、将来的に情報の閲覧による医療安全への効果を評価したい。さらに2022年に設置された国の医療DX推進本部は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化を加速し、2024年秋に健康保険証を廃止すること、電子処方箋を2025年3月までに普及させる¹⁶⁾ことを示していることから、今後マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行う患者が大幅に増加することが予期され、今回の結果と相違する可能性が考えられる。

本研究の結果から、当院では50~70代の患者がマイナンバーカードを用いたオンライン資格確認を積極的に利用していた。オンライン資格確認には暗証番号での認証が多かった。診療情報、薬剤情報は97%以上の閲覧同意を得ており、特定健診情報は40代以上が40代未満よりも有意に同意が得られたことが示された。

結 論

マイナンバーカードを用いたオンライン資格確認で、暗証番号による資格確認が多かったことが示された。また、オンライン資格確認の利点である、診療情報、薬剤情報の閲覧について同意が多く得られたことが示された。

文 献

- 1) 総務省：マイナンバー制度とマイナンバーカード，
https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/03.html#card (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 2) 総務省，厚生労働省：医療現場におけるICT利活用，
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/mirai_toshikaigi/suishinkaigo2018/health/dai1/siryu2.pdf (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 3) 厚生労働省：医療等分野におけるICT化の徹底について，
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai35/siryu3.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 4) 厚生労働省保険局：オンライン資格確認の導入で事務コストの削減とより良い医療の提供を，
<https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/001085572.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 5) 厚生労働省：第140回社会保障審議会医療保険部会 オンライン資格確認等システムの普及状況等について，
<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000737530.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 6) 厚生労働省：第142回社会保障審議会医療保険部会 オンライン資格確認等システムについて，
<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000759485.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 7) 厚生労働省：第145回社会保障審議会医療保険部会 オンライン資格確認等システムについて，
<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000850157.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 8) 厚生労働省保険局：オンライン資格確認原則義務化の経過措置について，
<https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/001062516.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 9) 守下昌輝，村岡宏祐，中村太志，吉居慎二，高橋 理，
貴船亮太，林 政成，富永和宏，栗野秀慈：九州歯科大学附属病院におけるコロナ禍の電話等による再診の実施状況，
日歯医療管理誌，57：126-135，2022.
- 10) 北九州市：北九州市の現状 高齢化の進展，
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001046944.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 11) 守下昌輝，大渡凡人，村岡宏祐，林 政成，月足俊博，
富永和宏，栗野秀慈：九州歯科大学附属病院診断科における一日あたりの新患者数と気象関連因子を含む多因子との関連に関する5年間10,870名を対象とした統計学的検討，
日歯医療管理誌，54：177-183，2019.
- 12) 総務省：マイナンバーカード交付状況について 令和5年9月末時点，
https://www.soumu.go.jp/main_content/000905241.pdf (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 13) ALMEX：FAQ 顔認証されない，
https://faq.almex.jp/faq/show/50449?site_domain=faq (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 14) 厚生労働省：オンライン資格確認等システム 顔認証機器画面遷移，
<https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/000623507.pdf> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 15) 厚生労働省：特定健診・特定保健指導について，
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> (最終アクセス日：2023年10月11日)
- 16) 医療DX推進本部：第3回医療DX推進本部幹事会，
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/iryuu_dx_suishin/pdf/dai3_kanjikai.pdf (最終アクセス日：2023年10月11日)

著者への連絡先：守下昌輝 〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1 九州歯科大学口腔機能学講座クリニックラークシップ開発学分野
電話 093-582-1131, FAX 093-582-1140
E-mail：r08morishita@fa.kyu-dent.ac.jp

Status of Online Eligibility Verification Using Individual Number Cards at Kyushu Dental University Hospital

MORISHITA Masaki^{1,2)}, MURAOKA Kosuke¹⁾, NAKAMURA Taiji³⁾,
FUKUDA Hikaru⁴⁾, TAKAHASHI Osamu⁴⁾, YOSHII Shinji⁵⁾,
HAYASHI Masanari⁶⁾, KAWAMOTO Tatsuo⁷⁾ and AWANO Shuji¹⁾

¹⁾Division of Clinical Education Development and Research, Department of Oral Function,
Kyushu Dental University

²⁾Health Information Management Office, Kyushu Dental University Hospital

³⁾Division of Periodontology, Department of Oral Function, Kyushu Dental University

⁴⁾Division of Maxillofacial Surgery, Department of Physical Function, Kyushu Dental University

⁵⁾Division of Promoting Learning Design Education, Department of Physical Function,
Kyushu Dental University

⁶⁾Administration Department, Kyushu Dental University Hospital

⁷⁾Division of Orofacial Functions and Orthodontics, Department of Health Promotion,
Kyushu Dental University

Abstract : The Japanese government aims to consolidate various patient documents into the Individual Number Card to enhance digital transformation in the medical and dental fields. Since October 2021, this card, featuring health insurance verification, offers instantaneous confirmation of insurance eligibility and identity at medical and dental institutions. Patients can use the card with facial recognition-enabled card readers, choosing to identify via face or PIN and whether to voluntarily allow healthcare professionals to access their medical, drug, and health checkup details.

This study assessed patients' profiles and consent levels at a dental university hospital using online verification through this system. The findings revealed that patients in their 50s to 70s were the primary users of this service. PIN authentication was favored over facial recognition. Over 97% permitted access to their medical and drug records, with 85% granting access to health checkup data. Thus, patients recognize the benefits of online verification, including healthcare professionals' efficient access to vital health data.

Key words : Individual Number Card, Online eligibility verification, Facial recognition-enabled card readers

書評

リサーチのはじめかた
—「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法—

トーマス・S・マラニー, クリストファー・レア 著
安原和見 訳
筑摩書房 発行
B6判 336頁 定価2,200円

“まるで眩しい都会の照明から逃れたようだった。ふと気づけば頭上は満天の星だったのだ。”

この本のなかの事例で、学生が指導教官に自分の研究テーマを説明し、まだわかっていないことがたくさんあるからテーマとして選んだと説明する場面がある。しかし、話し合っているうちに、実はもっと身近で日常的なところに選択の根源的な問いがあり、その問いに答えるために探求すべきことは星の数ほどあることが、教員、学生の両者に自覚されてくる。そのときの表現が冒頭の記事である。「まだわかっていないから研究した」というのは論文の緒言によく使われる常套句である。しかし、まだわかっていないからという理由で始まる研究は多くの場合路頭に迷うと筆者は言う。答えを知りたい問いは、個々人のなかに潜んでいる。日本歯科医療管理学会は開業歯科医師が多く所属している学会である。研究や



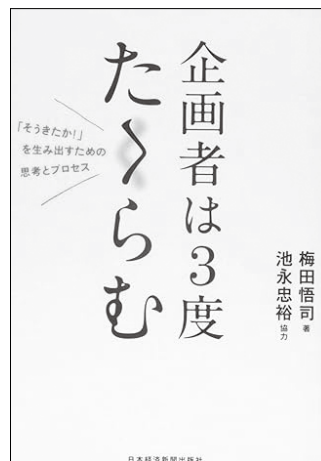
論文に関しては苦手意識をお持ちの方もいるだろう。精密な分析機器を扱ったり難解な統計解析を行ったりすることはただの手段であり研究の本質ではない。答えを見つけない問いは実は多くの歯科医師の中に日常診療を通して蓄積されているに違いない。本書を読んでその問いが見つかったら、ぜひそれについての研究へ歩みを進めていただきたいと思う。(岸 光男 記)

企画者は3度たくらむ

梅田悟司 著
日本経済新聞出版 発行
B6判 255頁 定価1,540円

2016年に東京医科歯科大学主管で、本学会総会・学術大会を開催する際に、現・学会顧問の高津茂樹先生よりいただいた本です。実行委員長の立場で学術大会の企画に迷いを持っていたとき、「企画とは、実現した際に、世の中を動かし、それに参加した人の心を動かすこと」を学んだ本です。その後、学生指導、研究、学会などの場において、数多くの企画立案機会をいただいています。その都度、「企画者は3度たくらむ」の題名を思い出し今日にいたっています。

会員の皆様におかれては、歯科医院マネジメント、スタッフ育成などの企画立案、運営にあたることもあると思います。本文中に記されている、①課題をたくらむ、②企画をたくらむ、③チームをたくらむ、このサイクルを頭のなかに入れることで、これまで以上に、深く“た



くらんだ”「企画」とすることができ、何か迷い、困難に感じていたことを前に進むきっかけとなると思います。いつもの仕事を一段大きな視点で見て、それを面白くするためにも、会員の皆様にはご一読いただきたい書籍です。(鶴田 潤 記)

一般社団法人日本歯科医療管理学会雑誌投稿規則

1. 一般社団法人日本歯科医療管理学会雑誌に掲載する総説、論壇、原著、短報、視点、臨床の投稿については、下記のように規定する。
 - 1) 総説
歯科医療管理に関する研究や調査についての総括および解説を内容とする。
 - 2) 論壇
意見を述べ、論議を戦わせるための一石を投じるような内容とする。
 - 3) 原著
歯科医療管理に関する独創的な研究および科学的で客観的に結論が得られ、歯科保健医療に寄与するもの。
 - 4) 短報
独創的な研究および科学的な観察を簡潔にまとめたもの。
 - 5) 視点
事例、臨床手法の改良・提言、実践的な活動、調査報告および新しい動向などを整理した内容のもの。
ただし、原則として総説の投稿は編集委員会から依頼することとする。希望する論文の分類を記入すること。
 - 6) 臨床
歯科医療管理学的な観点による、症例報告、臨床統計、臨床技術の創意工夫、調査研究などの投稿を「臨床」論文とする。必要な病態写真を添え、症例報告に限っては結語を省略することを可とする。
2. 投稿は、本会の会員で会費納入者に限るものであって、共著者が本会会員でない場合は、その氏名は本会雑誌には発表できない。また論文は、本誌の目的に適し、他に未発表のものに限る（二重投稿の厳禁）。
3. 投稿原稿については複数の査読者の意見をもとに編集委員会で検討し、その採否を決定する。また、体裁の統一は編集委員会に一任される。
4. 原著の同一著者による投稿は1号に1編とする。原著と依頼稿など種別の違う場合は、この限りでない。
5. 論文の掲載頁（1頁は800字詰の原稿で約3枚に相当する）、掲載料は下記のとおりとする。
6. 投稿原稿には必ず最新の論文投稿票・承諾書を添付する。
7. 別刷の実費は著者負担。費用は表紙5,000円、一部100円で50部以上とする。希望部数を投稿票に記入すること。
8. 著者校正は原則として、初校にて1回とする。その際組版面積に影響するような、加筆、変更、追加、削除は固くお断りする。校正の送付先を投稿票に明記し、期日厳守のこと。
9. 投稿原稿にはコピーを2部添付し、本会に3部提出する。なお掲載された原稿は返却しない。
10. 原著論文は、緒言、材料および方法、結果、考察、結論、文献、和文概要、英文抄録（Abstract 200語以内、英文抄録の日本語対訳を付けること）、および著者への連絡先を書く。なお、題名、著者名、共著者名、所属機関名、指導者または主任の氏名と職名、3～5語程度のキー・ワードを和文と英文で入れる。
11. 総説、論壇、短報および視点には題名、著者名、共著者名、所属機関名、指導者または主任の氏名と職名を和文と英文で入れる。和文概要と英文抄録は不要。キー・ワードは和文のみ入れる。
12. 原稿は、口語体、新かなづかい、横書きとし、A4判用紙でワープロソフトを使用のこと。その際、25字×32行（10.5ポイント）を1枚とする。また、ページごとに行番号を記載する。外国語は原綴りとし、ダブルスペースで活字体、タイプライター、ワープロソフトを使用のこと。
13. 文献は引用順に本文中に番号をつけ（例えば村瀬³⁰のように）、次の順に記載する。

(例) <雑誌の場合>

- 1) 大塚博壽, 増田勝美, 大西陽一郎: 歯科医療管理学の範疇を求めて一特に過去10年間・1,569編の文献の示す意義について一, 日歯医療管理誌, 24: 79~83, 1990.
- 2) Garner, L. D.: Tongue posture in normal occlusions, J. Dent. Res., 41: 771~778, 1962.

<単行本の場合>

- 3) 総山孝雄: 歯科医療管理学入門, 第1版, p. 95~120, 医歯薬出版, 東京, 1993.
- 4) Thoma, K. H.: Oral Pathology, 3rd ed., p. 123~140, Mosby, St. Louis, 1950.

<分担執筆による単行本の場合>

- 5) 川口陽子: 集団への口腔ヘルスケアとコミュニケーション, 石川達也, 高江洲義矩, 中村譲治, 深井稜博, 編: かかりつけ歯科医のための新しいコミュニケーション技法, 第1版, p. 224~240, 医歯薬出版, 東京, 2000.
- 6) Torneck, C. D.: Dentin-pulp complex, Ten Cate, A. R., ed.: Oral histology, 5th ed., p. 150~196, Mosby, St. Louis, 1998.

	掲載頁, 掲載料*
総説	8頁以内 (図, 表6個以内) *学会負担 (別刷30部贈呈)
論壇	8頁以内 *2頁まで学会負担
原著	16頁以内 *2頁まで学会負担
短報	3頁以内 *2頁まで学会負担
視点	8頁以内 *2頁まで学会負担

超過頁分については著者負担(頁数×9,200円)とする。総説以外の図・写真の図版製作費(本雑誌に適した図のトレース代を含む)、カラー印刷費、および英文添削代は全頁を通じて著者負担とする。

＜翻訳書の場合＞

- 7) Martin, D. W., Mayers, P. A. and Rodwell, V. W. (上代淑人, 監訳): ハーパー・生化学, 第24版, p. 402~405, 丸善, 東京, 1997.

＜オンラインジャーナルの場合＞

号や頁が与えられていないものは, DOI (Digital Object Identifier) が付与されている場合は明記すること.

- 8) O'Mahony, S., Rose, S. L., Chilvers, A. J., Ballinger, J. R., Solanki, C. K., Barber, R. W., Mortimer, P. S., Purushotham, A. D., Peters, A. M.: Finding an optimal method for imaging lymphatic vessels of the upper limb, Eur. J. Nucl. Med. Mol. Imaging, 2004. doi: 10.1007/s00259-003-1399-3
14. 数字はアラビア数字で, 単位記号は国際単位系 (SI) を用いる. (例) m, cm, mm, μm , cm^3 , l, mL, kg, g, mg, $^{\circ}\text{C}$ など.
15. 図, 表, および説明は日本語を使用する. 挿入箇所を本文右側欄外に朱書する. トレース希望の場合は鉛筆書きでよい(ただし明瞭に). 不鮮明な図は編集委員会でトレースにまわす(有料).
16. 投稿原稿に加え, これと同一内容を記録した電子記録媒体を添付すること. この場合は, 印字された原稿をオリジナル原稿として取り扱い, 電子記録媒体は印刷所における組版の補助として使用する.
17. 投稿規則に合致しない原稿は, 返却のうえご訂正願うことがある. 編集委員会からの依頼原稿は別規定による.

18. 本規則以外の事項と規定の変更は編集委員会で決定する.
19. 本誌掲載の著作物の著作権は本学会に帰属するものとする.
20. 疫学研究, 臨床研究および動物実験に関しては, 倫理審査委員会等による審査を受け, 投稿原稿の「材料と方法」の項にその旨を記載する. 承認した倫理審査委員会の名称および承認番号を記載する.
21. 利益相反に関する言及が必要な場合は, 謝辞に記載する.
22. 原稿の送付先は下記のとおりとする. 投稿論文在中と朱書すること.
- 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
一般財団法人口腔保健協会内
一般社団法人日本歯科医療管理学会編集委員会
Tel: 03-3947-8894 Fax: 03-3947-8073

附則

1. 本規則は理事会の決議を経なければ改正または廃止することはできない.
2. 本規則は第45巻第1号から適用する.
3. 本規則は平成30年5月1日一般社団法人日本歯科医療管理学会設立に伴い, 「日本歯科医療管理学会」を「一般社団法人日本歯科医療管理学会」と読み替えるものとする.
4. 本規則は, 令和元年5月27日一部改正する.
5. 本規則は, 令和2年6月11日一部改正する.
6. 本規則は, 令和3年7月16日一部改正する.

電子記録媒体 (CD-R, USB メモリ等) の添付について

1. テキストファイルへの変換について

原稿は, マッキントッシュあるいは Windows の Word ファイルで保存して下さい.

2. 入力の際のお願い

原稿は表紙, 和文概要, 索引用語, 本文, 文献, 著者への連絡先, 英文抄録, Key words, 日本語対訳, 付図説明の順に保存して下さい. なお, 入力にあたり数字, 欧文はすべて半角で入力して下さい. また, 欧文における単語間は半角にし

て下さい. 改行マークは段落の最後にのみ入力して下さい.

3. ラベルの貼付

投稿者の氏名, 所属, 論文タイトルを明記したラベルを貼付願います.

4. バックアップ

郵送時の不測の事故で, 内容を消失する事態がないとはいきりませんので, 投稿前に必ずバックアップをお願い申し上げます.

複写をご希望の方へ

一般社団法人日本歯科医療管理学会では, 複写複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています. 当該利用をご希望の方は, 学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請ください.

Japanese Society of Dental Practice Administration authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JAC (<http://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

編	集	後	記
---	---	---	---

▶石川県能登地方を震源とし同県志賀町で震度7を観測した能登半島地震が2024年1月1日に発生しました。放送や広報による津波への警戒や避難者への対応など初動の良さが挙げられましたが、それでも多くの方が被害に遭われ、今も避難生活を送っています。心よりお見舞い申し上げます。また1月2日には、羽田空港で民間機と海上保安庁の飛行機が衝突、炎上の大事故がありました。不幸にも海保の方が亡くなりましたが、JALの乗客367人、乗員18名全員が無事に燃え盛る飛行機の煙で充滿したキャビンから搭乗員の指示に従い脱出しました。だれも荷物を持たず、乗客からは“完璧な誘導でした”とのことでした。どんなに準備しても、避けられない、また思いもよらない事故や天災は発生します。あらゆる想定を行い、発生後には被害を最小にする構え、訓練の大切さが示されました。

▶近年、特に医療分野では、安心、安全で適切な医療行為が強く求められています。私達が日々行ってきた医療に係わるすべてを多角的に見直すことが必要と思われま。歯科医療管理とはまさに、歯科医療に係わる避けられないこと、思いもつかないこと、発生するかもしれないこと、あるいは頻繁に起きている事故や不都合、起きてしまったことに対しての適切な対応などを探求することで、安心・安全の医療を患者さんだけでなく、医療者にも提供する分野と確認をしました。

▶第58巻第4号をお届けします。「歯科大学病院におけるマイナンバーカードを用いたオンライン資格確認の状況」(視点)が掲載されます。健康保険証とマイナンバーカードを一体化し健康保険証を廃止し電子処方を普及させるというパラダイムシフトについてのものです。

(藤原 周 記)

日本歯科医療管理学会雑誌発行日程表

ただし1号は講演抄録も掲載します。

巻 号	原稿締切日	編集委員会	発行予定日
1号	1月末日	2月中旬	5月25日
2号	4月末日	5月中旬	8月25日
3号	7月末日	8月中旬	11月25日
4号	10月末日	11月中旬	2月25日

(必 着)

日本歯科医療管理学会維持会員

1. 医歯薬出版株式会社
2. 長田電機工業株式会社
3. 株式会社松風
4. 株式会社モリタ
5. 株式会社ヨシダ

日本歯科医療管理学会賛助会員

1. 相田化学工業株式会社
2. OEC 株式会社
3. 株式会社ジーシー
4. 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ
5. メディア株式会社
6. 株式会社茂久田商会
7. 株式会社 UK デンタル
8. 和田精密歯研株式会社

編 集 委 員

(委員長)

岸 光 男

藤 井 一 維

(副委員長)

福 澤 洋 一

藤 原 周

恒 石 美 登 里

堀 川 晴 久

鶴 田 潤

森 田 一 三

福 泉 隆 喜

日本歯科医療管理学会雑誌 第58巻第4号

(通巻第156号)

令和6年2月10日 印刷

令和6年2月25日 発行

発行者

尾 崎 哲 則

発行所 一般社団法人日本歯科医療管理学会

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

(一財) 口腔保健協会内

Tel. 03(3947)8891(代)

Fax. 03(3947)8341

日本歯科医療管理学会雑誌 第58巻 総目次

巻頭言

若き皆様へ「下積み」のすすめ	山崎 信也	1
ご挨拶	末瀬 一彦	115
専門医制度への移行	笠井 史朗	141
今後の歯科診療報酬改定に対する本学会の貢献と学会活性化を考える ～令和6年度医療技術評価での本学会からの提案技術の初採択を踏まえ～	上條 英之	172

第64回日本歯科医療管理学会総会・学術大会

大会長挨拶	山内 六男	3
ご挨拶	阿部 義和	4
第64回日本歯科医療管理学会総会・学術大会の開催にむけて	尾崎 哲則	5
総会・学術大会開催記録		6
2023年度認定医研修会のご案内		8
お知らせとお願い		9
プログラム		15
講演抄録		22

原著

千代田区内の歯科診療所における医療連携の実態調査—医療連携推進媒体配布前後の比較—	美濃 直輝, 黒川 理佐子, 沼部 恵菜, 前田 祐貴 加藤 智崇, 小川 智久	48
急性期病院における一般病棟に勤務する看護師の口腔ケアへの意識調査	貝川 詠梨, 阿部 厚, 谷口 真一, 松井 義人, 林 宏紀	56
オーラルフレイルが現れる年齢の推定の試み	森田 一三, 松本 祐介, 杉浦 石根, 稲川 祐成 中畠 誠治, 野村 岳嗣, 阿部 義和, 丸山 智美	116

臨床

九州歯科大学附属病院における診療中に発生した異物誤飲嚥事故の調査	中村 太志, 守下 昌輝, 村岡 宏祐, 栗野 秀慈, 川元 龍夫	142
----------------------------------	-----------------------------------	-----

視点

顔面多発骨折に対する Matrix WAVE MMF システムの有用性と今後の展望	石濱 嵩統, 水野 進, 阿部 厚	64
岩手医科大学附属病院造血幹細胞移植チームによる口腔管理	阿部 晶子, 杉山 由紀子, 佐藤 華子, 佐藤 俊郎 大石 泰子, 岸 光男	68
従前の歯科医師数予測の検証と更新した数理モデルによる予測	田中 武昌	122
医科歯科連携の推進と歯科医療管理学の展望—経済財政運営の改革の基本方針2023を踏まえ—	上條 英之, 小野瀬 祐紀, 高橋 義一	150
歯科大学病院におけるマイナンバーカードを用いたオンライン資格確認の状況	守下 昌輝, 村岡 宏祐, 中村 太志, 福田 晃, 高橋 理 吉居 慎二, 林 政成, 川元 龍夫, 栗野 秀慈	172

第 64 回日本歯科医療管理学会大会報告	山 内 六 男	156
地域関連団体活動報告		
令和 4 年度北海道歯科医療管理学会活動報告.....	越 智 守 生	74
令和 4 年度みちのく歯科医療管理学会活動報告.....	山 崎 信 也	76
令和 4 年度関東甲信越歯科医療管理学会活動報告.....	大 金 誠	77
令和 4 年度東海歯科医療管理学会活動報告.....	山 内 六 男	80
令和 4 年度近畿北陸歯科医療管理学会活動報告.....	末 瀬 一 彦	81
令和 4 年度中国地域歯科医療管理学会活動報告.....	池 田 実 央	82
令和 4 年度四国歯科医療管理学会活動報告.....	蓮 井 義 則	84
令和 4 年度九州歯科医療管理学会活動報告.....	比 嘉 良 喬	85
地域関連団体活動予定		86
会務だより		128, 158
書 評		
歯科医院のための AHA ガイドライン 2020 に沿った一次救命処置.....	藤 井 一 維	87
清浄島.....	堀 川 晴 久	87
医療安全のための事例と対策.....	福 澤 洋 一	132
14 歳から考えたい優生学.....	森 田 一 三	132
CAD/CAM 活用による歯冠修復治療メタルフリーの歴史と展望.....	福 泉 隆 喜	166
認知症グレーゾーンの歯科診療と地域連携の Q&A.....	藤 原 周	166
リサーチのはじめかたー「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法ー.....	岸 光 男	178
企画者は 3 度たくらむ.....	鶴 田 潤	178
名誉会員紹介		88
認定医一覧		89
指導医一覧		89
認定士一覧		89
役員・代議員一覧		133
定 款		91
認定医制度規則・施行規則		99
指導医制度規則・施行規則		103
認定士制度規則・施行規則		106
倫理審査委員会規程		109
日本歯科医療管理学会賞を受賞して		157
投稿規則		111, 136, 167, 179
編集後記		113, 138, 169, 181

CONTENTS

Original Articles

- Survey of Medical Collaboration in Dental Clinics in Chiyoda Ward, Tokyo :
A Comparison Before and After Distributing Media to Promote Medical Collaboration
MINO Naoki, KUROKAWA Risako, NUMABE Ema, MAEDA Yuuki,
KATO Tomotaka and OGAWA Tomohisa 48
- Awareness Survey on Oral Care Among Nurses Working in General Wards
in an Acute Care Hospital
KAIGAWA Eri, ABE Atsushi, TANIGUCHI Shinichi,
MATSUI Yoshihito and HAYASHI Hiroki 56
- An Attempt to Estimate the Age at Which Oral Frailty Appears
MORITA Ichizo, MATSUMOTO Yusuke, SUGIURA Iwane, INAGAWA Yujo,
NAKASHIMA Seiji, NOMURA Taketsugu, ABE Yoshikazu and MARUYAMA Satomi 116

Clinical Report

- The Survey on Accidental Ingestion and Aspiration of Dental Foreign Bodies
at the Kyushu Dental University Hospital
NAKAMURA Taiji, MORISHITA Masaki, MURAOKA Kosuke,
AWANO Shuji and KAWAMOTO Tatsuo 142

Vision

- Usefulness of the Matrix WAVE MMF System for Multiple Facial Fractures
and Future Prospects
ISHIHAMA Takanori, MIZUNO Susumu and ABE Atsushi 64
- Oral Management by Hematopoietic Stem Cell Transplantation Team
in Iwate Medical University Hospital
ABE Akiko, SUGIYAMA Yukiko, SATOU Hanako, SATOU Toshiro,
OOISHI Taiko and KISHI Mitsuo 68
- Verification of Former Estimation for the Future Number of Dentists
and Renewed Estimation Applied with Updated Mathematical Model
TANAKA Takemasa 122
- Prospects for Dental Health Care Management Science and Essential for Promote Care
for Medical-Dental Cooperation : Based on the Basic Policies for Economic and Fiscal
Management Reforms 2023
KAMIJO Hideyuki, ONOSE Yuki and TAKAHASHI Yoshikazu 150
- Status of Online Eligibility Verification Using Individual Number Cards
at Kyushu Dental University Hospital
MORISHITA Masaki, MURAOKA Kosuke, NAKAMURA Taiji, FUKUDA Hikaru,
TAKAHASHI Osamu, YOSHII Shinji, HAYASHI Masanari, KAWAMOTO Tashuo
and AWANO Shuji 172

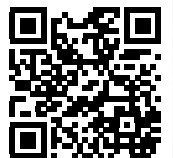
EOM **和**
なごみ

GC



歯科診療に、
目に見える安心を。

EOMのさらなる進化
イオム和専用サイト



発売元 **株式会社 ジーシー** / 製造販売元 **株式会社 ジーシー**
東京都文京区本郷3丁目2番14号 東京都板橋区連沼町76番1号

歯科用ユニット イオム ナゴミ 管理医療機器 特定保守管理医療機器 304AKBZX00059000

カスタマーサービスセンター お客様窓口 ☎0120-416480 受付時間 9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祝日を除く) <https://www.gc.dental/japan/>
支店 ●東京 (03)3813-5751 ●大阪 (06)4790-7333 営業所 ●北海道 (011)729-2130 ●東北 (022)207-3370 ●名古屋 (052)757-5722 ●九州 (092)441-1286
※アフターサービスについては、最寄りの営業所へお願いします。

※掲載の情報は2022年12月現在のものです。※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。※写真には一部オプションを含む場合があります。詳しくは装備一覧表をご覧ください。



補綴装置



金属



陶材



CAD/CAM用
レジン材料



ニケイ酸
リチウム



ジルコニア

すべて

本で...

前処理材
不要!*

対応可能!



詳しくは
こちらの動画を
ご覧ください



窩洞・支台歯



歯質



金属



レジン材料



* CAD/CAM冠等、より高い接着を求める場合は、窩洞または支台歯に対してビューティボンド Xtremeによる前処理を行う事を推奨します。

自己接着性レジンセメント

ビューティリンク SA

無駄なく使える
ハンドミキシングタイプ

販売名・一般的名称

販売名	一般的名称	承認・認証・届出番号
ビューティリンク SA	歯科接着用レジンセメント	管理医療機器 医療機器認証番号 304AKBZX00032000

包装・価格

9mL ... ¥12,000

【内容】ペースト 9mL、スパチュラ 1、紙練板 1
【色調】3色(クリア、アイボリー、オベーク)



1~25°Cの
常温保管可能

製品の詳細はこちらまで...

松風 検索 www.shofu.co.jp

価格は2023年12月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11 お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く) www.shofu.co.jp
●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

The Nippon Dental Review

日本歯科評論

世代を超え、長く読み継がれている歯科臨床医のための月刊誌!

3月号 特別企画 (通刊977号)

2月号 特集
義歯のリライン

コストパフォーマンスに優れた **CR 修復の実践**
.....須崎 明

(通刊976号)

3月号 学術・臨床・連載

シンプルな術式における湾曲根管へのアプローチ
.....浅井知宏・古澤誉彰・中島 龍・古澤成博

上顎前歯部に GBR 法を併用し、ステージドアプローチでインプラント治療を行った一症例
.....玉置佳嵩

歯科治療時に発生する偶発症について
——皮下気腫.....菊入 崇

エンドの鉄則——エビデンスを臨床で活かすために (8)
歯内療法成功率と歯の生存率.....木ノ本喜史

素朴なQへの概略A
「8020達成者」51.6%は統計学的にみて世界に誇れる数値か
.....深井稜博

1月号からの新連載コラム

- 感染症および感染症研究の今
- その処方、大丈夫ですか? —— 今さら聞けない薬の常識
- DHと考えるう蝕予防Evidence EXTRA
- 見直しましょう! 有病者の歯科治療
——病気をもった患者さんが来院したら.....

好評連載コラム

- 歯科クリニックでの口腔粘膜疾患への対応
- 臨床に向けた最近の動向から
- Recommend The Article いま読んでおきたい論文
- 続・対応に困る患者さんたち —— コミュニケーションエラーを防ぐ
- 今月のピックアップデータ
- 新・こちらジュリスト ほか



A4 変判・定価 2,970 円(税込)

Thinking ahead. Focused on life.



Spaceline EX

スペースライン EXが iFデザイン賞の金賞を受賞

ドイツのiFデザイン賞は、50年以上の歴史を有し、各国から選ばれた審査員によって厳正に選考される世界的に権威のあるデザイン賞です。世界中から6,400以上のエントリーがあった中、最優秀デザインとして75件に授与される金賞（iF GOLD AWARD）をスペースライン EXが受賞しました。人間工学に基づき緻密に計算されたデザインは、患者さんだけでなく術者にも理想的で洗練されたデザインであると評価されました。



発売

株式会社 **モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18
〒564-8650 T 06. 6380 2525

東京本社 東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 T 03. 3834 6161

お問合せ お客様相談センター 歯科医療従事者様専用
T 0800. 222 8020 (フリーコール)

製造販売・製造

株式会社 **モリタ製作所**

本社工場 京都府京都市伏見区東浜南町680
〒612-8533 TEL 075-611-2141

久御山工場 京都府久世郡久御山町市田新珠城190
〒613-0022 TEL 0774-43-7594

販売名: スペースライン

一般的名称: 歯科用ユニット

機器の分類: 管理医療機器(クラスII)

特定保守管理医療機器

医療機器認証番号: 228ACBZX00018000

www.dental-plaza.com

インプラント体を低侵襲で除去するためのキット

トレフィンバーを用いた除去方法とは異なり、インプラント体のスレッドを利用し、逆回転にトルクを与えるというシンプルな操作で摘出できます。オッセオインテグレーションを破壊することで、インプラント体周囲の健康な骨を保存することが可能です。



Fixture Remover Kit

AnyCheck

感覚を見える化する、インプラント安定性測定器

埋入時や二次手術時などに測定することによって、インプラントの初期固定、オッセオインテグレーションの度合、インプラントの予後の評価を数値で知ることができます。ヒーリングアバットメントや補綴物などを外すことなくすぐに測定できます。



販売名:Neo CMI インプラントシステム用手術器具 / 一般的名称:歯科用インプラント手術器具 / 一般医療機器 / 医療機器製造販売届出番号: 27B1X00122000021 | 販売名:Neo CMI インプラント手術用ドリルビット / 一般的名称:手術用ドリルビット / 一般医療機器 / 医療機器製造販売届出番号: 27B1X00122000027 | 販売名:AnyCheck-エニーチェック / 一般的名称:歯牙動揺測定器 / 特定保守管理医療機器 / 医療機器認証番号:231AFBZ100007000



日本歯科医学会専門分科会

一般社団法人日本歯科医療管理学会入会のご案内

学際的分野での活動に参加しませんか

●一般社団法人日本歯科医療管理学会とは …

近年の歯科医療を取り巻く環境は、より高度な専門性が求められると同時に社会の動向に合わせた国民目線が求められる時代になってまいりました。歯科医療管理学は実際に診療を行うにあたって、いかにして学問を臨床に応用するかを考究することを目的とし、時代の要求から、従来の診療室のみにとどまらず社会のなかでの歯科のあり方を考察する社会歯科学の一翼を担う学問といえます。

日本歯科医療管理学会は、日本歯科医学会 23 専門分科会のなかで、歯科医療管理学としての学問を具現化し、国民が求めている安全・安心・信頼の歯科医療を研究・研修する学会です。近年の我が国は、超高齢社会の進行、う蝕減少等による疾病構造の変化、ICT の利活用による医療・保健・福祉分野の情報促進、国民の医療への意識の変化等、歯科界を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。

超高齢社会が進行する今日、国民のニーズに応えるためには、地域住民を主体とした各関係機関との連携強化、医科医療機関、行政各関連機関及び地域包括支援センター等との連携を含めた地域包括ケアシステム（地域完結型医療）の構築等、新たな歯科医療の提供体制が必要となってきています。このような社会情勢のなか、日本歯科医療管理学会は「医療安全」と「地域連携」を活動方針の二本柱として学会運営を行っています。

「地域包括ケアシステム」を推進するにあたり、「新しいかかりつけ歯科医のあり方」という視点で、妊婦から乳幼児、小児、成人、高齢者、障害者、在宅から終末期まで、医科の基礎疾患をお持ちの方や診療所に来院できない人も含めた地域住民のライフステージのなかで、地域住民が健康に過ごすために、いかにしてかかりつけ歯科医として地域の人々と向き合っていけるか、日本歯科医療管理学会は、かかりつけ歯科医がどのように地域包括ケアシステムと親密に関わりを持つかを探究する学会でもあります。

日本歯科医療管理学会は、「医療安全」と「地域連携」を柱に「かかりつけ歯科医機能」を充実させるための研修会を行い、地域包括ケアシステムを推進してまいります。

●設立は …

1958（昭和 33）年に学会設立に向けての世話人会が発足し、1960（昭和 35）年に設立総会が開催され、1974（昭和 49）年から日本歯科医学会専門分科会の 1 分科会として活動しています。なお 2018（平成 30）年 5 月 1 日より法人格を有する一般社団法人日本歯科医療管理学会に移行しました。

●地域関連団体は …

北海道、東北、関東甲信越、東海、近畿北陸、中国、四国、九州の 8 団体で活動しています。令和元年 5 月 1 日現在、合計で約 1,200 名の会員が各地域関連団体に所属しています。このうち、開業歯科医がほぼ 7 割をしめることから、8 団体での都道府県歯科医師会の医療管理関連部門と連携を図り、歯科医療の質向上を目指しています。

●本学会の活動は …

① 総会・学術大会

毎年、原則として 6 月末～7 月初旬の土日に、2 日間にわたり開催しています（令和 6 年度は札幌の予定）。歯科医師に加えて歯科衛生士、歯科技工士等のコ・デンタルスタッフを対象に、特別講演、シンポジウム、生涯研修セミナーなどで時代の情勢を学び、さらに一般口演、ポスター発表などで、会員の日常の臨床や研究成果を発表する機会を提供しています。また、歯科医師会団体会員の発表の場にもなっています。

② 地域関連団体総会・学術大会

都道府県歯科医師会と連携をとりながら、各地方会で特別講演、シンポジウムをはじめ、会員の一般口演等を実施しています。

③ 日本歯科医療管理学会雑誌（年 4 回発行）

総説、原著論文、学術大会の抄録、地域関連団体学術大会の報告のほか、日常臨床のヒントを紹介する視点などの情報を提供しています。

④ 共催フォーラム

他学会や団体と共催で、フォーラムを開催します。平成24年度は日本医用歯科機器学会と共催で平成25年3月9日（土）に、東京医科歯科大学において「安全・安心な歯科医療提供を考えた医療機器の取り扱いとメンテナンス」をテーマとしたフォーラムを開催しました。平成25年度は、平成26年3月15日（土）に日本歯科医学教育学会とのシンポジウム「歯科医療における専門医制度を考える」を開催しました。

⑤ 学会ホームページからの情報発信

本学会ではホームページで、総会・学術大会、地域関連団体総会・学術大会の開催スケジュールをはじめ、広く歯科保健医療の質向上にかかわる情報を提供しています。

●日本歯科医療管理学会認定医制度 …

認定医制度が平成24年4月から発足しました。認定医を申請するためには、次の資格要件が必要です。

- ・日本国の歯科医師免許を有すること
- ・歯科医師免許登録後、5年以上継続して本学会会員であること
- ・別に定める研修実績を有すること

(認定医取得のメリット)

- ① 歯科医療管理学をある程度修得した証になります。
- ② 現在国民が求めている安全・安心・信頼の歯科医療を提供している歯科医師であるということを本学会が認定する認定医制度なので、患者に対していわゆる患者のニーズに対応した歯科医師がいる医療機関であることをアピールできます。
- ③ 学会活動（発表等）に参加する目標や励みになります（認定医取得の単位が認定されます）。関連事項として、「学会賞」が創設され、学会誌に掲載された論文を審査し、優秀者を表彰します。
- ④ 認定医は、本学会のHPに掲載します。また、「全国名医」等の各雑誌社からの問い合わせに本学会の認定医を紹介します（ただし、個人情報になるので登録するときにオープンに対する賛否を聞いて対応します）。

●日本歯科医療管理学会認定士制度 …

認定士制度は平成30年5月より発足しました。認定士を申請するためには、次の資格要件が必要です。

- ・歯科医療連携に関する国家資格免許を有する者
- ・認定士の申請時において、3年以上継続して本学会会員であること（令和3年までは暫定期間を設定してありますので学会歴が3年以上なくても申請できます）
- ・別に定める研修実績を有すること

(認定士取得のメリット)

- ① 国民から望まれている歯科医療に必要な医療安全や多職種間における医療連携などの歯科医療管理の基本的な知識を習得したことの証となります。
- ② 本学会が認定することにより安全・安心・信頼の歯科医療を提供している認定士がいる医療機関であることをアピールできます。
- ③ 学会活動（発表等）に参加する目標や励みになります（認定士取得の単位が認定されます）。また、本学会認定医と共同の学会活動がスムーズになります。

●入会のお申込みは …

- ① 会員の種別には、
個人会員（入会金 3,000 円、年会費（歯科医師）12,000 円／年会費（歯科医師以外）10,000 円）と
団体会員（入会金 6,000 円、年会費 24,000 円：3名分までを登録でき、そのうち1名を代表者とし、当該団体の変更届により適時変更できます）があります。
- ② 入会申込書、年会費自動引落の依頼文書は、以下の学会事務局へご請求ください。

一般社団法人 日本歯科医療管理学会

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 一般財団法人 口腔保健協会内

TEL(03)3947-8891(代) FAX(03)3947-8341

記入例

フリガナ	ヤマダ ¹		タロウ						西暦	
氏名	姓	山田	名	太郎	性別	① 男	2 女	生年月日	1970年 5月 1日	
最終学歴	(学校名) 東京医科歯科大学				紹介者	① あり	氏名(管理 花子)	2 なし		
卒業年	西暦	1994 年		② 見込						
職種区分	① 歯科医師	2 歯科技工士			勤務先区分	0 大学	② 開業			
	1 歯科衛生士	3 その他	()			1 病院	3 その他			
勤務先	郵便番号	1 7 0 -	TEL	03 - 3947 - 8891		FAX	03 - 3947 - 8341			
		0 0 0 3	Eメール	jimukyoku@jsdpa.gr.jp						
	住所	東京都豊島区駒込 1 - 43 - 9								
勤務先名称	山田歯科クリニック									
現住所	郵便番号	1 7 0 -	TEL	03 - 3947 - 8894		FAX	03 - 3947 - 8073			
		0 0 0 3	Eメール	jimukyoku@kanri.gr.jp						
	住所	東京都豊島区駒込 1 - 43 - 10								
	ビル名 気付等	駒込TSビル 401								
送付先区分	① 勤務先	1 自宅	メール送付先区分	① 勤務先	1 自宅	日本歯科医師会 会員区分	0 会員でない			
							① 会員である			

【一般的な注意事項】

- ・太枠の中のみご記入ください。
- ・すでに他の学会に入会されている場合にも必ずお書きください。

【各事項の注意事項】

1. 氏名は、姓と名に分けてご記入ください。誤りやすい文字は特にご注意ください。
例: 斉 齋 土 土 末 末 など
2. 性別欄は「1男 2女」のいずれかの番号に○を付けてください。生年月日は必ず西暦でお書きください。
3. 最終学歴の卒業年欄は卒業年(西暦)をご記入いただき、卒業または卒業見込のいずれかに○を付けてください。
4. 職業区分は、「0歯科医師 1歯科衛生士 2歯科技工士 3その他」のいずれかの番号に○を付けてください。
「3その他」に○を付けた方は()内に具体的にお書きください。
5. 勤務先区分は、「0大学 1病院 2開業 3その他」のいずれかの番号に○を付けてください。
6. 郵便番号は必ずご記入ください。
勤務先住所欄は必ず都道府県名から記入し、正式名称をご記入ください。また×丁目×番地×号については、下記のようにご記入ください。
例: 3丁目18番123号 → 3-18-123
また、電話番号は下記のように、必ず市外局番からご記入ください。
例: 03-3947-8891
7. 現住所欄も6. にならってご記入ください。また、団地、社宅、マンション、寮、アパート、など気付のある方は、その名称と棟番号および部屋番号をご記入ください。下宿の方は××様方とご記入ください。
8. Eメールアドレスは、楷書で、大文字・小文字、ハイフン(-)・アンダーバー(_)などを正確にご記入ください。
9. 雑誌送付先区分は「0勤務先 1自宅」のいずれかの番号に○を付けてください。
(入力原票の太枠下のいずれかの学会にすでに入会されている場合には、その雑誌の送付先と同じ所になります。)
10. メール送付先区分は「0勤務先 1自宅」のいずれかの番号に○を付けてください。
11. 日本歯科医師会会員区分は「0会員でない 1会員である」のいずれかの番号に○を付けてください。
12. 入会申込書の太枠下の学会の中で、現在加入している学会の番号に○を付けてください。

日本歯科医療管理学会雑誌 論文投稿票

1. 論文の分類 (マークして下さい)

総説 論壇 原著 短報 視点 臨床

2. 論文タイトル

3. 著者名 (会員番号), 共著者名 (会員番号)

4. 所属機関, 指導者または主任の氏名と職名

5. 原稿の構成

・本文 (表紙, 英文抄録, 本文, 文献を含む) _____ 枚
・付図 _____ 枚 付表 _____ 枚 付図説明 _____ 枚 CD等 有・無

6. 別刷希望部数 _____ 部 (50部以上)

7. 連絡先 (投稿・校正責任者)

(氏名)

(住所) 〒

電話

Fax

E-mail

8. 備考, 連絡事項

(裏面にチェックリストがあります)

承 諾 書

日本歯科医療管理学会 殿

_____年 月 日

下記に署名・捺印した著者は下記の表題の投稿原稿が「日本歯科医療管理学会雑誌」に掲載された際には、同誌の投稿規程により、著作権を貴学会に帰属することを承諾致します。

・論文タイトル _____

・著者 (全員) _____ 印 _____ 印

_____ 印 _____ 印

_____ 印 _____ 印

_____ 印 _____ 印

貴稿が日本歯科医療管理学会雑誌の投稿規則に沿ったものであるかを必ず確認し、下記事項について、著者がチェック欄にチェック（✓印）してください。

著者
チェック

編集委員会
チェック

- | | | |
|--------------------------|--|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 本誌最新号に綴じ込みの投稿票・承諾書をお使いですか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 著者はすべて本学会会員ですか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 承諾書には著者全員が署名、捺印してありますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 原稿は A4 判 800 字 (25 字×32 行) 詰, 10.5 ポイントで, 口語体, 新かなづかい, 横書きですか. またページごとに行番号を記載してありますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 原著論文は, 緒言, 材料および方法, 結果, 考察, 結論, 文献, 和文概要, 英文抄録 (Abstract 200 語以内, 英文抄録の日本語対訳付), および著者への連絡先の順に記載されていますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 原著論文は題名, 著者名, 共著者名, 所属機関名, 指導者または主任の氏名と職名, 3~5 語程度のキー・ワードを和文と英文で記入してありますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 総説, 論壇, 短報, 視点および臨床には題名, 著者名, 共著者名, 所属機関名, 指導者または主任の氏名と職名を和文と英文で入れてありますか. また和文のキー・ワードを入れてありますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 文献は所定の書き方で, 引用順となっていますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 図, 表は本文末にまとめ, 挿入箇所を本文右側欄外に朱書してありますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | カラー写真にはカラー, モノクロ印刷の指定がされていますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 原稿には通しページ番号が記載されていますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 原稿はオリジナル 1 部, コピー 2 部の計 3 部が用意してありますか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 個人を特定できないような配慮をしましたか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 投稿に際しての研究倫理に関する事項を確認しましたか | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | 利益相反に関する言及が必要な場合は謝辞に記載しましたか | <input type="checkbox"/> |

利益相反自己申告書

一般社団法人

日本歯科医療管理学会理事長 殿

1 発表者名等

氏名		所属機関	
演題名			

2 発表者の申告事項

- ・筆頭発表者が発表者全員の申告を行うこと
- ・発表に関係するものについてもれなく記載すること
- ・抄録提出日から過去1年間において、該当する事項があるとき、当該発表者名及びその期間を含めて記載する。

	申告事項	
(1) 役員・顧問等 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名/団体名/期間	報酬額 (万円)
(2) 株の保有 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名/株式名/期間	株式数, 株価及び利益 (万円)
(3) 特許権使用料等 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名/団体名/期間	金額 (万円)
(4) 講演料等 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名/団体名/期間	金額 (万円)
(5) 原稿料等 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名/団体名/期間	金額 (万円)
	発表者名/団体名/期間	金額 (万円)

(6) 研究費等 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		
(7) 奨学寄付金等 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名／団体名／期間	金額 (万円)
(8) その他の報酬 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	発表者名／団体名／期間	金額 (万円)

申告すべき事項と金額等

- (1) 1つの企業、法人や営利を目的とした組織（以下、団体という）から、年間100万円以上の報酬を受け取っている場合
- (2) 1つの企業の株式から、年間100万円以上の利益を取得した場合及び当該発行済株式数の5%以上保有している場合
- (3) 企業、法人や団体から、特許権使用料として支払われた金額のうち、1つの特許権使用料として年間100万円以上の場合
- (4) 企業、法人や団体から、日当・出席料・講演料等として支払われた金額のうち、1つの団体から年間50万円以上の場合
- (5) 企業、法人や団体から、原稿料（執筆料）として支払われた金額のうち、1つの団体から年間50万円以上の場合
- (6) 企業、法人や団体から、研究費として支払われた金額のうち、1つの団体からの総額が年間200万円以上の場合
- (7) 企業、法人や団体から、奨学寄付金（奨励寄付金）として支払われた金額のうち、1つの団体から申告者の所属機関に対する総額が年間200万円以上の場合
- (8) 1つの企業、法人や団体から受けたその他の報酬（旅行、贈答品等）が、年間10万円以上の場合

誓約：全ての発表者の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。

申告日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者署名・捺印 _____ 印

注) この利益相反自己申告書は発表後2年間保管されます。

※使用欄（記載不要）
受付日付
年 月 日

やさしさと共に届けたい。

オサダ ポータブルユニット デイジー2



かたち



スリムでコンパクトなデザインなのでユニットとバキュームを一体にすると省スペースで使用できます。状況に応じて分離しても使用可能です。

移動



キャリーカート*やショルダーベルト**を使用することにより、楽に運ぶことができます。
*オプションです。

操作



本体の操作パネルで全ての操作を行えます。液晶タッチパネルとパワーコントロールスイッチで分かりやすいシンプルな操作になっています。

いつでも、どこでも、だれにでも。



認証番号：227AHBZX00004000

販売名：オサダ ポータブルユニット デイジー2 一般的名称：可搬式歯科用ユニット クラス分類：管理医療機器（クラスII）/特定保守管理医療機器

製造販売元

長田電機工業株式会社

〒141-8517 東京都品川区西五反田 5-17-5

<http://osada-group.jp/>

※印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
※詳しい資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、
本社お客様センター宛にご請求ください。
※この広告掲載商品は改良の為、
予告なしに仕様を変更することがありますので予めご了承ください。
製造販売元/長田電機工業株式会社

お問い合わせはこちら



オサダ web サイトはこちら



